



板二小iCS委員会だより

令和7年度 第4号

板橋第二小学校
iCS委員会

委員長 青山 雅一
令和8年1月26日

早いもので、令和7年度も3学期を残すだけになりました。厳しい寒さと空気が乾燥した日々が続きますが、子供たちは元気に過ごしています。2週間後の学芸会に向けて、準備を進めています。引き続き、皆様の温かい見守りをお願いいたします。

第4回 i CS委員会を開催しました

令和8年1月22日（木）9：30～11：30に第4回委員会を開催しました。

参加委員は、青山様 増子様 富永様 狩俣様 原様 宮城様 でした。オブザーバーとして、板橋区教育委員会 地域教育連携担当高橋様、板橋区統括コーディネーター白鳥様が参加されました。

【内容】

1. 校長より挨拶がありました。
2. 令和8年度板橋区立学校経営計画表・自己評価表、学校関係者評価表（最終評価）案の説明があり、協議後承認いただきました。
3. 令和8年度教育課程（届）の説明があり、協議後、御承認いただきました。
4. 来年度に向けた諸連絡がありました。

◆令和8年度板橋区立学校経営計画表・自己評価表、学校関係者評価表（最終評価）について説明・熟議し、承認されました。

①学力の定着について

本校では、学力を①見える学力（知識・技能）②見えにくい学力（思考力・判断力・表現力）③見えない学力（主体性・学びに向かう力）の3つと捉えている。

特に今年度は「見えない学力」身に付けさせる「自己調整学習」を重点として取り組んでおり、児童が学習の進め方や学び方を自ら選択し、主体的に学習に取り組む授業実践を行っています。

②授業改善について

授業は、教師が一方的に進める形ではなく、個別学習や協働学習、発表方法の選択など、児童が目的に応じて学び方を選べる授業づくりを進めています。また、資料や文章を読み取り、自ら考え、判断し、表現する力の育成を重視しており、家庭学習や放課後学習においても自己調整学習の考え方を取り入れています。

③地域・外部機関との連携について

地域人材や外部団体の協力を得ながら、昔遊び、環境教育、ビオトープ造成、校外学習などの教育活動を実施しています。

今後も、学校ホームページ等を活用した情報発信を行い、家庭や地域との連携を継続・充実させていきます。

④教職員の働き方改革について

これは教職員に限った問題ではなく、現在は人材不足が深刻な状況にあります。働き方については「一生懸命取り組む部分」と「しっかりとリフレッシュする部分」のバランスが重要だと考えています。不要なものについては見直しを行い、休暇についても積極的に取得できるようにしていく必要があります。子どもが在校している時間帯に安易に休むことが難しいことですが、だからこそ計画的な休養が重要だと考えています。

⑤子供たち一人一人を尊重し、豊かな人間性を育成する。

「豊かな人間性」という観点では、子ども同士の関係づくりや規律面を大切にしながら、今後もさまざまな取組を活用して進めていきたいと思います。皆様からのコメントにもありましたが、本校の児童は「きちんと挨拶ができている」との評価をいただいている。何よりも、子どもたちが山あり谷ありの学校生活の中で満足感を持ち、教員との良好な関係性を築いていける学校を目指していきたいと考えています。

※協議の結果、①～⑤の内容が承認されました。

◆「令和8年度教育課程届出」について説明・熟議し、承認されました。

令和8年度は、学びのエリア（小中一貫教育）の共通方針を踏まえ、児童に以下の力を身に付けさせる教育活動を展開していきます。

- 自分らしく学び、未来を切り開く力の育成
- 自ら考え、行動する主体的な学びの実現
- 認め合い、共に生きる力を育てる福祉教育の充実
- 心と体を大切にし、粘り強く生きる力の育成
- 学びを支えるカリキュラム・マネジメントの推進
- つながりの中で学ぶ社会に開かれた教育課程の実現
- 子供を真ん中に据えた教育の推進を図る。

※協議の結果、上記の内容が承認されました。

第5回iCS委員会は、 2月7日(土)学芸会を参観いたします。